

2025年6月16日

「資源循環プロジェクト」が「ワールドスターコンテスト 2025」特別賞を受賞

当社が開発したポリエステル系合成紙「カミシャイン NEO®」を活用し、ラベル台紙の水平リサイクルを推進する取り組み「資源循環プロジェクト」が、このほど、世界包装機構 (WPO: World Packaging Organization) 主催の「ワールドスターコンテスト 2025」において、特別賞のサステナビリティ部門シルバー賞を受賞しました。本賞は、環境負荷の低減や資源の有効活用といった観点から特に優れた取り組みに贈られるもので、「資源循環プロジェクト」はサーキュラーエコミーの実現に貢献するロールモデルとして評価されました。



「ワールドスターコンテスト 2025」特別賞の表彰盾

■資源循環プロジェクトについて

本プロジェクトは、当社を含む異業種 6 社※1が共同で推進する、ラベル台紙の資源循環型水平リサイクルを通じて、ラベル台紙の廃棄ゼロを目指す環境配慮型の取り組みです。

飲料や日用品、医薬品などの製造工程において、製品にラベルを貼付した後の剥離紙(ラベル台紙)の使用量は、年間約 14 億平方メートルに上ると推計され※2、その大半が資源として回収・再利用されることなく、焼却または埋め立て処分されています。本プロジェクトでは、ラベル台紙の素材を従来の紙から当社が開発したポリエステル系合成紙「カミシャイン®」に置き換えることで、使用済み台紙の有価回収・マテリアルリサイクルを可能にします。さらに、回収した「カミシャイン®」製の台紙を原料の一部とするリサイクル専用台紙「カミシャイン NEO®」を導入することでラベル台紙の水平リサイクルを実現し、廃棄ゼロを目指しています。

■ワールドスターコンテストについて

ワールドスターコンテストは、優れたパッケージおよびパッケージ技術の開発・普及を目的として、世界包装機構が毎年開催する包装分野における世界最大級のコンテストです。各分野の応募作品について審査の上、「ワールドスター賞」が授与されます。

特別賞(サステナビリティ部門)は、「ワールドスター賞」の受賞作品の中から、環境負荷の低減や資源の有効活用といった持続可能性の観点で特に優れた事例を対象にして、追加審査を経て表彰されます。2025 年のコンテストでは、世界各国から 550 件の応募があり、「資源循環プロジェクト」を含む 260 件がワールドスター賞を受賞しました。この中からさらに選考が行われ、サステナビリティ部門では、ゴールド賞(1 件)、シルバー賞(1 件)、ブロンズ賞(2 件)が決定、「資源循環プロジェクト」はシルバー賞を受賞しました。

※1: 日榮新化株式会社(本社:大阪府東大阪市・東京都千代田区、代表取締役社長:清水寛三)、シオノギファーマ株式会社(本社:大阪府摂津市、代表取締役社長:井宗康悦)、TOPPAN インフォメディア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:堀正史)、三井物産ケミカル株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:八田直)とヤマトボックスチャーター株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:平塚俊彦)

※2: 資源循環プロジェクト 公式ウェブサイトより <https://www.shigenjunkan.com/problem>

以上

■お問い合わせ先

東洋紡株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
電話 : 06-6348-4210 E-mail : pr_g@toyobo.jp